

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）  
 （機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））  
 平成 23 年 3 月分（8 月 31 日現在）

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況	発生場所
1	H23.3.1	原子炉保護系地震計 （原子炉停止系を作動させるための地震計）	<p>定期検査期間中，原子炉保護系地震計の点検において，電解コンデンサの交換を実施した原子炉建屋下部水平方向地震計の 1 個にて，地震計内の電解コンデンサから電解液が漏れていることを確認した。</p> <p>このため，当該電解コンデンサを交換し復旧した。</p> <p>原因調査の結果，地震計内部配線の極性を示すマークが逆に取り付けられていたため，作業員が極性を誤って当該電解コンデンサを取付けたことによるものと判明した。</p> <p>このため，配線の極性を示すマークを適正に付け直し，電解コンデンサの極性に注意するよう取扱説明書および工事要領書へ反映した。</p>	処置済み	原子炉 建屋
2	H23.3.7	制御棒駆動機構自動交換機ボルト脱着機 （制御棒の挿入，引抜きを行う装置を脱着する設備）	<p>定期検査期間中，制御棒駆動機構自動交換機ボルト脱着機にて制御棒駆動機構の脱着作業中のところ，ボルトの締め付けトルクの指示値が安定しないことを確認した。</p> <p>このため，ボルト脱着機を分解点検したところ，脱着機内に水が浸入していることを確認したため，脱着機内の水を除去し，動作に問題がないことを確認し復旧した。</p> <p>原因調査の結果，ボルト脱着機のボルト穴に使用している液状ガスケットの塗布量が少なかったため，ボルト穴を通じて内部に浸水し，ケーブル接続部が濡れたことによるものと推定した。</p> <p>このため，当該ボルト穴に使用する液状ガスケットの塗布を厚めにするとともに，内部のケーブル接続部を防水テープにより養生した。</p>	処置済み	原子炉 建屋

3	H23.3.8	制御棒駆動水圧系設備 (制御棒の挿入, 引抜き動作に必要な水圧及び流量を供給する設備)	<p>定期検査期間中, 制御棒駆動水圧系の分解点検をしたところ, 制御棒駆動水圧系の1弁において, 弁体シート部の一部に傷が確認された。</p> <p>原因調査の結果, 駆動水に含まれる微小な異物が噛み込み当該弁体シート部に傷がついたためと推定した。</p> <p>このため, 当該弁の弁体を新品に交換し復旧した。</p>	処置済み	原子炉 建屋
4	H23.3.8	制御棒駆動水圧系設備 (制御棒の挿入, 引抜き動作に必要な水圧及び流量を供給する設備)	<p>定期検査期間中, 制御棒駆動水圧系の分解点検において, ハンマーを用いて制御棒駆動水圧系の窒素容器のボルト締め付け作業を行っていたところ, ハンマーが窒素容器の圧力計に接触し, 圧力計が損傷した。</p> <p>このため, 当該圧力計を交換し復旧した。</p> <p>原因調査の結果, 作業エリアが狭い場所であったこと, およびハンマーが滑り圧力計に接触する恐れがあることを考慮していなかったことによるものと判明した。</p> <p>このため, 当該作業を行う際には原則として広い場所で実施することとし, 狭隘な場所で作業をせざるをえない場合は, 圧力計等に保護カバーを設置するよう工事仕様書に反映した。</p>	処置済み	原子炉 建屋
5	H23.3.8	原子炉冷却材浄化系手動弁 (原子炉水中の不純物を除去し水質を維持する設備の弁)	<p>定期検査期間中, 原子炉冷却材浄化系のプリコート<sup>1</sup>配管流量設定弁の分解点検を実施したところ, 当該弁の弁箱上部のふたの押さえネジが損傷していることを確認した。</p> <p>このため, 当該弁押さえネジ部を補修し復旧した。</p> <p>原因調査の結果, 当該弁の開度を固定するロックナットが締まっている状態で当該弁を開閉したため, 当該押さえネジに過大な応力が作用し損傷したものと推定した。</p> <p>このため, 当該弁の操作をする際には, ロックナットを緩めた後に開閉操作を行うよう工事仕様書に反映した。</p>	処置済み	原子炉 建屋

6	H23.3.15	制御棒駆動水圧系設備 (制御棒の挿入, 引抜き動作に必要な水圧及び流量を供給する設備)	<p>定期検査期間中, 制御棒駆動水圧系の分解点検をしたところ, 制御棒駆動水圧系の蓄圧器内の一部にすじ状のわずかな傷が確認された。</p> <p>このため, 当該蓄圧器を交換し復旧した。</p> <p><u>原因調査の結果, 当該蓄圧器の分解点検時に異物を噛み込み, 傷を発生させたものと推定した。</u></p> <p><u>このため, 当該蓄圧器の分解点検をする際には, 異物混入防止の注意喚起が確実になされるよう工事仕様書に反映した。</u></p>	処置済み	原子炉 建屋
7	H23.3.28	原子炉保護系地震計 (原子炉停止系を作動させるための地震計)	<p>定期検査期間中, 原子炉保護系地震計の点検を実施したところ, 原子炉建屋下部水平方向地震計の1個において, 地震計感震器の接点の一部が変形していることを確認した。</p> <p>このため, 当該接点を補修し復旧した。</p> <p>原因調査の結果, 地震計を校正する際に使用する治具が感震器に挿入した状態で固着してしまい, その治具を引抜こうと過剰に力を加えたため当該接点に変形したものと推定した。</p> <p>このため, 地震計の点検に際しては注意して操作, 作業を実施するよう作業員へ周知するとともに工事要領書へ反映した。</p>	処置済み	原子炉 建屋

1 イオン交換樹脂をエレメントに付着させること。

・「不適合」とは, 要求事項を満たしていない状態をいいます。

処置状況欄記載の「対応中」, 「補修済み・取替済み・復旧済み」, 「処置済み」については, 以下の状況をいいます。

- ・対応中 : 要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み: 要求事項を満足する状態に復旧済みです。  
今後, 原因調査, 対策等を講じます。
- ・処置済み: 要求事項を満足する状態に復旧し, 原因調査, 対策等を実施済みです。  
なお, 今後, 水平展開について検討・対応します。

・今月の更新箇所は下線で示しています。